

「延岡市立小中学校に空調設備を整備することについて」に関する市民意見公募(パブリックコメント)及び市の考え方

教育委員会総務課

No.	分類	意見の概要	本市の考え方・対応
1	計画	整備費用とランニングコストは高いと思うが、必要なものである。	<p>昨今の夏の暑さは尋常ではなく記録的な猛暑が続く中で、他県において児童が死亡するといった事例が発生しております。そのため、全国的に学校施設への空調設備を整備する動きが加速しており、本市におきましても、児童生徒の生命を守り、健康を保持するため、早急に公立小中学校の普通教室等への空調設備の整備を実施することとしたところです。</p>
2	計画	普通教室にエアコンを設置していただくことに感謝する。	
3	計画	是非、早急に空調設備を整備してほしい。	
4	計画	子どもたちは、登下校時には、教科書のみならず、資料などの副教科書も多く、また、近年の酷暑から、真夏には水筒も持参させており、合わせると10キロを超える重さとなる。朝から、このだけの重さの物を背負って、真夏に通学すれば、一日中汗が止まらない。身体が出来上がっていない子供にあっては、冷房設備がないため、クールダウンをすることもできず、集中力を喪失している状態で、勉強をさせても効率は上がらない。ぜひ、学校に冷暖房設備を設置してほしい。	
5	計画	空調設備の整備には反対である。現在の電力消費は大きく、学校の校舎を含む多くの建物が、太陽光発電や緑化など、地球温暖化防止策をとっておらず、高温日数を増加させる一方である。子孫に暮らしやすい地域を残す事が大切である。	<p>地球温暖化対策などの環境への配慮は大切なことであることは承知いたしております。しかしながら、昨今の夏の暑さは尋常ではなく、他県において児童が死亡するといった事例も発生しており、児童生徒の生命を守り、健康を保持するためには、空調設備の整備が必要であると判断をいたしました。ご理解をいただきたいと思います。</p>
6	費用	延岡市小中学校への空調整備に係る整備費用が約20億円、年間の電気代約1億円、高いと思うが、必要なものである。	<p>事業費については、必要と考えられる様々な要因を加味して積算を行っております。今後、実施設計により精査をおこなうこととしており、その中でよりコストパフォーマンスの良い空調機の導入や効率的な工法等を検討するなどコスト削減を図ってまいります。</p>
7	費用	設置が必要な教室が416教室となっているが、事業費を教室数で割ると約480万円/1教室となり、高いように感じる。出来るだけコスト削減を行って欲しい。	
8	費用	1教室当たりの費用が500万円ちかくであることに理解できない。総額だけを開示しているので、内訳の開示をしてほしい。	<p>空調設備の整備費の内訳といたしましては、小学校(26校、291教室)が、工事費1,325,712千円、実施設計委託料31,647千円、施工監理委託料が19,344千円、事務費137千円、中学校(16校、125教室)が工事費585,415千円、実施設計委託料16,835千円、施工監理委託料が11,904千円、事務費61千円、となっております。</p>
9	費用	天井・壁面固定大型クーラーは、工事費や定期点検等に経費がかかりすぎであり、税金の無駄である。	<p>整備にあたりましては、機能的でコストパフォーマンスも良好な機器を選定するなどコストの削減に努めたいと考えております。</p>
10	費用	市のHPには、経費財源見込みが添付されているが、労務費高騰や、消費税増税要因などはきちんと見込んであるのか？	<p>現時点で考えられる要因を加味したうえでの経費を見込んでおります。</p>
11	費用	小中学校の現在の受電設備状況によっては、予算に大きな変動がみられると思うが、予算は事前に調査および、精査されたものなのか？	<p>熱源(電気やガスなど)については、今後、実施設計を行う中で比較検討いたしますが、電気の場合は受変電設備も考慮に入れて積算しております。</p>
12	費用	延岡市でのランニングコストの算出がされているが、このなかには、何がふくまれているのか？	<p>ランニングコストは、仮に電気を熱源として採用した場合を想定して、増加が見込まれる電気料金(使用料と基本料金)を算定しております。</p>

「延岡市立小中学校に空調設備を整備することについて」に関する市民意見公募(パブリックコメント)及び市の考え方

教育委員会総務課

No.	分類	意見の概要	本市の考え方・対応
13	時期	実施を数年でやっても不公平になるので、早急に、合わせて同じ時期に実行すべきだと思う。	工事時期は、学校によって様々ではありますが、平成31年度中には、基本的には、全ての小中学校の普通教室に導入するよう取り組んでまいります。併せて、学校間に大きな時期の差が出ないように努めてまいります。
14	時期	学校空調は短期間に一斉導入しないと、学校間の公平性が保てないはずだが、どのように考えているのか？	
15	時期	学校間の公平性を保つ為に引渡し時期や、空調機器に大きな差がでないような工夫が必要と思うが、どうされるつもりか？	
16	時期	そもそも計画自体が、遅すぎた感がある。実施率が、東京100%、延岡0%はひどすぎる。	学校施設の整備につきましては、これまで耐震化工事など児童生徒の安心・安全に資した工事を優先して行って参りましたので、空調設備の整備が遅れておりました。
17	業者選定	整備費用約20億円なので地元企業優先で、購入コストダウンもしてほしい。利権の集中は避けて欲しい。	工事等の発注におきましては、本市の方針として市内業者への発注を優先して行っております。
18	業者選定	児童や教職員に、快適に学習や就労できる環境を提供するべきだと思うが、それを検討や企画立案できる企業をどのようにして、選定するのか？	今後、発注に向け、ご指摘の点を含め検討してまいります。
19	機器仕様	ランニングコストの試算では、夏場6、7、9月の3ヶ月使用を前提にランニングコストを試算しているが、空調設備は冷房機能だけなのか。	空調設備の仕様については、冷暖房機器を考えています。ランニングコストの試算につきましては、冬場でも日中の教室は暖かいところが多いこと、インフルエンザの流行を防ぐために換気を十分に行う必要があることなどから、冬場の空調設備の利用頻度としてはそう高くないと考え、利用頻度の高い夏場のみを掲載させていただきました。今後、学校の意見も踏まえながら空調設備の使用基準を作成してまいりたいと考えております。
20	機器仕様	今回の空調設備整備事業に関しては、基本料金が安く、キュービクルの増設が必要なく、また、災害時の停電の際に電力供給が可能となるなどのメリットがある、LPガスによるGHP導入をしてほしい。	導入を検討している空調の熱源(電気やガスなど)については、今後、実施設計を行う中で比較検討いたしますが、いただいたご意見は、その際の参考にさせていただきます。
21	機器仕様	どうしても空調設備が必要ということであれば、持ち運び・移動可能な、スポットクーラーにしてはどうか。	スポットクーラーは、音がうるさく、また、広範囲を冷却するには適していないことから、教室で使用するのは難しいと考えております。
22	制度活用	延岡市を皮切りに、周辺市町村が一斉に標題の実現に取り組む姿勢を表明しており、いままら延期出来ないし、国の補助制度も有効活用してほしい。	整備のための財源としましては、平成30年度の国の補正予算による有利な補助制度の活用を考えております。
23	制度活用	短期間に一斉導入できない場合、補助金等はもらえるのか？	平成30年度の国の補正予算による有利な補助制度の活用を見込んでおり、基本的には遅くとも平成31年度内での工事完了が必要となりますので、期間内に工事を完了し、確実な補助金の確保に万全を期したいと考えております。
24	運用	エアコンの設備工事をする際に、省エネを考慮した屋外機の設置をお願いしたい。教室の近くの陽の当たる場所ではなく、日陰で風通しを良くする工夫をしてほしい。	空調設備の仕様や設置する場所等につきましては、実施設計により検討を行うこととしております。いただいたご意見は、検討の参考にさせていただきます。

「延岡市立小中学校に空調設備を整備することについて」に関する市民意見公募(パブリックコメント)及び市の考え方

教育委員会総務課

No.	分類	意見の概要	本市の考え方・対応
25	運用	教室は窓ガラスが多く保温が難しいので、屋外によしずをかけることで太陽光による温度上昇が防げるし、よしずの代わりに遮光シートをしても耐久性も向上する。	ランニングコストの削減は大変重要なことであり、今後対応策の検討を行って参りたいと考えております。いただいたご意見は、検討の際の参考にさせていただきます。
26	運用	窓ガラス飛散防止フィルムを貼ることで、太陽光のUVが遮断されて室温上昇防止と地震時のガラス飛散防止の二重の効果が期待できる。	
27	運用	扇風機を天井に吹かせて室内の空気のムラをなくして空気の循環系を作ることで、省エネとなる。	
28	運用	発汗、脱水症状等ある場合は、塩分・冷却水の補給とシャワー使用で冷却する。	熱中症対策として、必要に応じ、対応を検討してまいります。
29	その他	内藤記念館改修が並行して立ち上げられているが、とても同等案件とは思えず乏しい財源を考慮すれば、小中学校の空調設備整備が優先すると考える。	小中学校の空調設備整備も、内藤記念館の改修も、どちらも市民の皆さまにとりまして重要な案件であり、それぞれに進めてまいる考えですので、ご理解をお願いいたします。
30	その他	気温が高い期間は、IT等を活用し登校させずに自宅学習をさせてはどうか。	ITの活用による自宅学習は、将来的には可能になるかもしれませんが、現時点では、暑い時期を避ける方策として、夏休みの期間延長などの検討を行ってまいりたいと考えております。
31	その他	工事に瑕疵があれば、地震発生時に落下するなどの危険がある。	整備にあたりましては、地震時に機器が落下しないよう万全な工事を行ってまいります。